

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公表番号】特表2008-529723(P2008-529723A)
 【公表日】平成20年8月7日(2008.8.7)
 【年通号数】公開・登録公報2008-031
 【出願番号】特願2007-556169(P2007-556169)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

A 6 1 B 1/00 3 3 4 B

A 6 1 B 1/00 3 2 0 D

A 6 1 M 25/00 4 5 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の細長い医療装置の近位端を第 2 の細長い医療装置に対して或る角度に向けるためのワイヤガイドホルダにおいて、

前記第 1 の細長い医療装置を受け入れるように作られた通路を有する本体部と、

前記通路に作動可能に接続された摩擦要素と、を備えている、ワイヤガイドホルダ。

【請求項 2】

前記摩擦要素は、少なくとも部分的には前記通路内へと伸長している 1 つ又はそれ以上のポリマーリングを備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 3】

前記摩擦要素は、少なくとも部分的には前記通路内へと伸長している 1 つ又はそれ以上のパッドを備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 4】

前記 1 つ又はそれ以上のパッドは、前記通路を画定する表面に取り付けられている、請求項 3 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 5】

前記摩擦要素は、前記通路を画定する表面に施されるコーティングを備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 6】

前記摩擦要素は、前記通路を画定する表面に設置される 1 つ又はそれ以上の突起部を備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 7】

前記摩擦要素は非直線状の通路を備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 8】

前記第 2 の細長い医療装置のアクセスポートに取り付けられており、前記第 1 の細長い医療装置の遠位部は、前記第 2 の細長い医療装置の前記アクセスポートを通して配置され

、前記第 1 の細長い医療装置の近位部は、前記通路を通して配置され、前記近位部は、前記遠位部に対して概ね或る角度に向けられている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 9】

前記第 1 の細長い医療装置の遠位部が前記第 2 の医療装置に対して長手方向に動かないように固定するための固定部を更に備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 10】

前記第 2 の細長い医療装置のアクセスポートに取り付けられており、前記第 1 の細長い医療装置の前記遠位部は、前記第 2 の細長い医療装置の前記アクセスポートを通して配置され、前記第 1 の細長い医療装置の中間部は前記固定部に固定され、前記第 1 の細長い医療装置の近位部は前記通路を通して配置され、前記近位部は前記遠位部に対して或る角度に概ね向けられている、請求項 9 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 11】

前記固定部は、前記本体部から外向きに伸長する複数の突起部を備えており、前記複数の突起部は、前記第 1 の細長い医療装置の中間部を縫うように通して、前記第 1 の細長い医療装置の遠位部が前記第 2 の医療装置に対して長手方向に動かないように固定することができるように作られている、請求項 9 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 12】

前記固定部は、前記本体部の中へと内向きに伸長する複数の溝を備えており、前記複数の溝は、前記第 1 の細長い医療装置の中間部を縫うように通して、前記第 1 の細長い医療装置の遠位部が前記第 2 の医療装置に対して長手方向に動かないように固定することができるように作られている、請求項 9 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 13】

前記通路は、前記第 1 の細長い医療装置の近位部を、前記本体と前記第 2 の細長い医療装置の一方に対して 45° より大きい角度に偏向させるように作られている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 14】

前記通路は、前記第 1 の細長い医療装置の近位部を、前記本体と前記第 2 の細長い医療装置の一方に対して 90° より大きい角度に偏向させるように作られている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 15】

前記第 1 の細長い医療装置はワイヤガイドを備えており、前記第 2 の細長い医療装置は内視鏡を備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 16】

前記通路は、少なくとも部分的には前記本体の内部を通して伸長している管腔を備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 17】

前記通路は、前記本体の外表面に配置されるチャネル又はクリップの一方を備えている、請求項 1 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 18】

第 1 の細長い医療装置を第 2 の医療装置に対して固定するためのワイヤガイドホルダにおいて、

前記第 1 の細長い医療装置の近位部を前記第 2 の医療装置に対して偏向させるように作られた通路を有する本体と、

前記第 1 の細長い医療装置の遠位部の前記第 2 の細長い医療装置に対する長手方向の動きを制限するように作られた固定要素と、を備えている、ワイヤガイドホルダ。

【請求項 19】

前記本体は背骨部を備えており、前記通路は前記背骨部を通して伸長している、請求項 18 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 20】

前記固定要素は、前記背骨部から外向きに伸長する複数の突起部を備えており、前記複数の突起部は、前記第 1 の細長い医療装置の中間部を縫うように通して、前記第 1 の細長い医療装置の前記遠位部が前記第 2 の医療装置に対して長手方向に動かないように固定することができるように作られている、請求項 19 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 21】

前記通路は、前記第 1 の細長い医療装置の前記近位部がそこを通して配置されると、前記近位部の動きを抑制する手段を備えている、請求項 18 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 22】

前記第 1 の細長い医療装置の前記近位部の前記動きを抑制するための前記手段は、少なくとも部分的には前記通路の中へと伸長する 1 つ又はそれ以上のエラストマーデバイスを備えている、請求項 21 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 23】

前記第 1 の細長い医療装置の前記近位部の前記動きを抑制するための前記手段は、非直線状の通路を備えている、請求項 21 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 24】

第 2 の細長い医療装置に取り付けるように作られた取り付け部を更に備えている、請求項 18 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 25】

前記第 1 の細長い医療装置はワイヤガイドを備えており、前記第 2 の細長い医療装置は内視鏡を備えている、請求項 18 に記載のワイヤガイドホルダ。

【請求項 26】

前記通路は、前記本体の外表面に配置されるクリップ又はチャンネルの一方を備えている、請求項 18 に記載のワイヤガイドホルダ。